

レポート&写真:井原芳徳

第10試合 メインイベント スーパーフライ級(53kg)(ノンタイトル戦) 3分3R(延長1R)

○大崎一貴(OISHI GYM/RISE スーパーフライ級王者)

×川上 叶(龍生塾/シートボクシング日本バンタム級(52.5kg)王者)

判定 3-0 (豊永 30-29/和田 29-28/佐藤 30-28)

名古屋のOISHI GYMに所属する大崎兄弟の兄・一貴は、タイ・ルンピニースタジアムやKNOCK OUTで活躍後、今年2月からRISEに参戦し、風音、政所仁を撃破。[9月の後楽園大会](#)で田丸辰の保持する王座に挑戦し、2Rに左フックでダウンを奪って王座を奪取し、2戦連続でRISEのナンバーシリーズのメインイベントとなる。

対する川上は大阪の龍生塾に所属する11戦7勝(5KO)4敗の20歳。昨年11月に佐藤執斗にKO勝ちしシートボクシングの王座を獲得。今年4月のRISE大阪大会で石井一成との試合が組まれたが、コロナ禍の影響で流れている。満を持してのRISE初参戦においても、王者・大崎との王者対決が用意されたことからも、RISE側の期待の大きさもうかがえる。

1R、サウスポーの川上が序盤から積極的に左ミドルを放ち、左フック、左ストレートも絡める。大崎は中盤から右ミドル、右ボディフック、ボディストレートのヒットを増やし、五分の印象に戻す。

2R、大崎は距離を詰めると、左ボディのヒットを増やし、終盤以降は左ボディから左の顔面狙いのフックにつなげる場面も見せ、やや優位に。

3Rも大崎が同様にロープに詰め、右インローも絡めつつ、度々左右のボディをクリーンヒットし、川上を苦しめる。顔面へのパンチにも随所でつなぎ主導権を維持。3Rのポイントを確実に取り判定勝ちした。



